

神奈川県演劇連盟機関誌

# ドラマ神奈川

第19号

1999年7月31日発行【神奈川県演劇連盟】

●横浜市中央区福富町西通り52 ☎045-261-4866

1999年度

## 県演連総会開かれる!

5月16日(日)

—京浜協同劇団稽古場にて—

### 総会

稽古場での総会。いかにも演劇人にふさわしい場所です。

まじめに(?)議案書に目を通す人。耳を傾ける人。



### 交流会

おいしい手料理におもわず舌つづみ。

宴もたけなわ。積極的に交流する人も。

特別報告については、

4、5頁をごらん下さい





## G9 Project

『ちっ』



2月3日(水)～4日(木)  
相鉄本多劇場

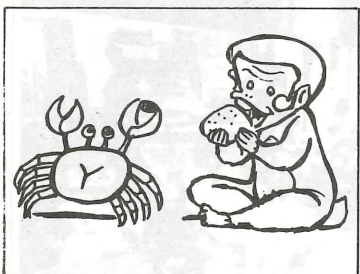
「AIRY」と「同級生」という2つの芝居が喫茶店という舞台の上で入れ違いに展開されていく。一つは、中学生の男女の夢が成長とともに、語られていく。もう一つは、女子高生4人の成長がエピソードで語られていく。何気ない日常のひとコマ、喫茶店に集う、特に、「同級生」はエチュードをする中から創られたというだけに、「いうよ、こんなこと。」とか「

ウソだ。」などと自分も舞台の一人になった気分させてくれるほど、会話のテンポもよく、何よりも役者たちが背のびせず自然体で芝居をしているように観せてくれた。「AIRY」は男性がとてもういういしい。少し肩に力が入っていたが、ラストでは、カッコいい青年をカッコよく演じていて、さすががしさを感じた。セットもシンプルでよかった。はじめてG9の芝居を観たが、今度は、本公演を観たいと思った。

(京浜 清水)

## 川崎演劇塾

『さるかに合戦』



2月27日(土)  
南管子供文化センター  
管子供文化センター

葡萄にも親子を対照としたものがあるが舞台から反応をうかがったことしかなかったので反応を直接肌で感じられたことが最大の収穫だ。

公演の内容は、まず記念公演で上演した「11ぴきのねこ」から歌を3曲、休憩をはさんで「さるかに合戦」を上演した。芝居のほかに歌や踊りがついていたので観ていてあきない。気にならないところ

がまったくなかったわけではないが、親と子供がよろこんでいる顔を見ればそんなことはどうでもよくなってしまふ。

肝心なのはやる側と観る側がいかに楽しい時間を共有できたかだと思う。今回はそちらの方を大切にしたい。

アマにしろプロにしろ今日ここにいる子供達の中から未来の演劇人が誕生するのかもしれないと思ふ。

(劇団葡萄座 野中)

## 横浜小劇場

『マンザナ、わが町』



3月20日(土)～21日(日)  
横浜市教育会館ホール

冬に逆戻りしたような土砂降りの寒い日、横浜小劇場の「わが町、マンザナ」を観に行った。まだペンキのにおいの残る新しいホールでの公演でした。

舞台は、強制収容所での五人の女性の話で戦争時代特有のじめじめとした暗さがなく、浪曲、当時のアメリカンポップス、日本の童謡などがふんだんに盛り込まれた作品で、さすが井上ひさしという

ところ。

一幕では、あまり事件らしい事件が起らないせいカスローテンポなのが気になった。特に演出家役の女優さんが、あまりにも冷静過ぎる台詞回しで観ている側としてなかなか入り込むことができずに残念。

後半は、ドラマもあり、盛り上がりもあつたが、オーラス場面で役者同士の心情の高まりがもう少しほしかった。

観客数が、客席半分に満たないのが残念。天候のせいもあるとは思ふが、やはり舞台はお客さんと共に創り上げるものだと通感しました。

(川崎演劇塾 都)

## 横浜にゆうくりあ

『夢の工場』



3月22日(月・祭日)  
紅葉坂教会地下

久しぶりにさわやかな芝居を観た。劇団横浜にゆうくりあの創立15周年企画イベントとして上演された「夢の工場」である。8編のショートプログラムによるオムニバスの形式で演じられたこの作品は、「仕事場」と言う名の夢の工場で、自分たちの夢を具現化しようとする人々の、ささやかな風景が楽しく描かれていたと思う。「夢を叶えること」とは、芝居のテーマとして語られやすい題材ではあるが、そうした作品の多くが、サラリー

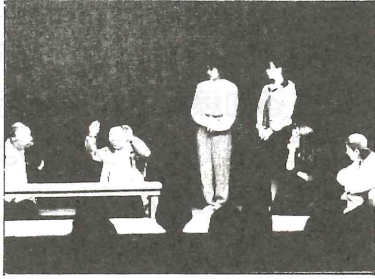
マンにはなりたくない若者が、ダンサーや歌手と言った何か特殊技能を持った華やかな世界で成功するべく努力すると言った安直な物語の多い中で、この作品のように、今現在自分のいる仕事場での現実的な対処方法によって一見不可能に見える仕事にチャレンジしていく姿を、大人が描いているのが清々しい。

このオムニバスの中では、「二人で生きていくこと」の三編は、「夢の具現化」と言うテーマにそぐわないかと思われたが、作者の名前をプログラムで見えて納得した。作品に出演している二人の役者が作っているのだ。「ああ、この作品の創作自体が夢の工場だったのだ」と、納得して、なんだか少し暖かい気持ちで、紅葉坂を下った。(劇団蒼生樹 篠原久美子)



## 劇団河童座

『わしゃ  
喰っちゃらん』



3月27日(土)～28日(日)  
横浜市教育会館ホール

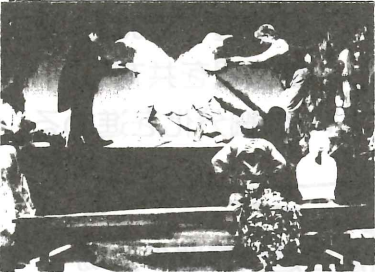
いまや、横浜でも最大クラスの演劇イベントになりつつある「横浜アートLIVE '99」の参加作品として上演された。河童座は同イベント立ち上げには当初より積極的に参加しているが、今年は参加作品のラインアップの中でもひととき異彩を放つ作品となった。それは、高齢社会における老人介護にスポットをあて、一つの創作ドラマというよりは、痴呆性の老

人を抱える家族に対する暖かいメッセージという色合いが強いことによる。私どもの劇団でも、老人介護をテーマとした小作品をイベント上演したことがあり、「わしゃ喰っちゃらん！」を貫くテーマは痛いほどに良く判った。この作品はすでに6年前から上演されており、介護の専門家や実際に介護されている家族の方々の協力を得て製作されている。それだけに、通常の演劇では決して得ることのできないリアリティが客席に伝わってくる。惜しいなと思わせられたのは、母親役の最後のモノローグで少し情が入りすぎたことかもしれない。

(横浜にゆうくりあ 泉谷ひとみ)

## 京浜協同劇団

『ドリトル先生  
怪獣としゃべる』



3月27日(土)～28日(日)  
多摩市民館

小雨の降る中、向ヶ丘遊園駅をおり、目指す会館へ入ったのが開演時間の6時半だった。外が寒かった分、会館の中は暖かさを満ちていた。多くさんの動物達がそこでは生き生きとしていた。ドリトル先生が動物の言葉を練習するところは本当に私も口を開けて練習をしてみたくなっていた。そこには人間の世界だけが世界なんだと感じていた自分がはざかし

かった。怪獣の住む島での動物達の助け合い、そしてメソメソとシクシクが島へ帰ることを決心するくだりは本当に良くわかった。ただちよつときびしかったのが見ている子供達の声あまり聞こえてこなかった点でした。観客先から登場をする等して交流をするのも良かったのではないのでしょうか。最後にドラマ神奈川の編集長の清水さん(メソメソの役)顔の表情も、大きな声もとても印象的でした。

(劇団蒼い群 村田次郎)

## 公演スケジュール

8月～11月

劇団河童座 「銀河鉄道の夜」原作／宮沢賢治  
脚本、演出／横田和弘 8/13(金)18:30 14  
(土)13:30・18:30 15(日)13:30 相鉄本多劇場  
9/23(木)14:00 横須賀青少年会館

劇団横浜にゆうくりあ  
「ブルーライトヨコハマ」作・演出／泉谷渉  
9/14(火)～19(日) 相鉄本多劇場

劇団妻の会 「夏の日の陽炎」作・演出／山口  
雄大 10/16(土)～17(日) 関内小ホール

劇団こゆるぎ座 「平家物語抄～高倉上皇～」  
作／後藤翔如 演出／楠田正宏 10/30(土)～  
31(日) 小田原市民会館大ホール

京浜協同劇団 「うたよみざる」作／川村光夫  
演出／藤井康雄 11/4(金)～5(土)川崎市幸文  
化センター 12/7(火)神奈川県青少年センター

劇団葡萄座 「大どろぼうホッシェンプロッツ」  
(予定)作／プロイスラー 訳／加藤衛 11/  
6(土)～7(日) 横浜市教育文化ホール

劇団川崎演劇塾 「八月のシャハラザード」  
作／高橋いさを 演出／小川雅功 11/12(金)  
～14(日) 相鉄本多劇場

劇団かに座 作品未定 11/19(金)19:00 20  
(土)14:00、19:00、21(日)14:00 相鉄本多劇場

プロジェクト夢樹 作品未定 11/20(土)19:  
00 21(日)13:00 横須賀青少年会館

劇団蒼い群 「木曜日の女たち」作／ロレー  
ベロン 11/27(土)～28(日) 横須賀青少年会館

# 加藤直さん現る！



## ～権兵衛太鼓もビックリ！～

去る5月16日、京浜協同劇団稽古場において開かれた、神奈川県演劇連盟1999年総会の中で、合同公演の演出をしてくださる加藤直さんがお話をしてくださいました。床に座ってのフランクなお話の中から、ほんの一部をまとめてみました。

皆さんの演劇は日常と密着した中で演劇のあるべき姿を探っていると思うが、今は演劇がどういう必然性・インパクトを持って他人と結ばれているかが見えにくい時代。演劇はなぜ必要か、どう獲得していくと刺激的かを探るために僕はここに来た。

ワークショップは、例えば5人で話し合って5分間で芝居をつくる。それを通じてお互いに説得をし、価値観を共有し、演劇についての細分化を進める。

新劇に造反有理の立場からアングラが起り、新劇を壊しにかかったが、アングラは何も生んでいない。そのうち小劇場運動が起り、特定のファンと成立する演劇がメディアと結びついて賑やかな演劇ブームを起こしている。

現代は、ブラウン管やパソコンの記号の中で全てが処理できる時代だからこそ、肉感覚や皮膚感が感じられて、つばきが飛んでくるような演劇が必要になってくる。だから、演劇を見直していきたい。

50人いれば50通りの受け取り方がある。言語は信用できない。誰に向かって何を喋るかから始めよう。





表現とは感動を与えなければ  
ならないものというのは疑問  
であり、そもそもそのようなもの  
として表現を絶対視するのは  
おかしい。

人は1人では生きられない。  
他人を欲している。  
お互いの違い（ズレ）を  
認識し合うことが  
他人作りの始まり。  
そして表現の第一歩は  
他人を認めることであり、  
他人と出会う場を  
つくることである。



西遊記づくりは表現のある場所  
（他人を認める場所）へ向かう  
だけであり、サラリーマンもの  
恋愛もの何でもありの世界で  
ト書きも自分たちでつくっちゃう。

公共のサポート  
（助成金だけでなく）  
をうまく利用していこう。  
例えば施設については24時間  
稽古ができたり、ボランティアが  
運営したり、使いやすくなるよう  
主張していくつもり。その意味でも  
僕がここにいるのは意味が  
あることだと思う。

# 神奈川県演劇連盟 加盟劇団連絡ノート

## 京浜協同劇団

211-川崎市幸区古市場2-109  
0952 TEL 044-511-4951

## 川崎演劇塾

214-川崎市多摩区寺尾台2-8-1-12-504 小川方  
0005 TEL 044-951-9819

## 劇団葡萄座

220-横浜市西区宮ヶ谷2-2メゾン前橋302山本方  
0006 TEL 045-311-8208

## 劇団麦の会

235-横浜市磯子区磯子2-22-13 山元方  
0016 TEL 045-753-4025

## 劇団かに座

220-横浜市西区岡野町1-3-14  
0073 045-311-4616

## 横浜小劇場

231-横浜市中区福富町西通り52  
0042 横浜演劇研究所内  
TEL 045-261-4866

## 劇団蒼生樹

220-横浜市西区戸部町2-192-14 濱田方  
0046 TEL 045-242-3584

## 劇団横浜にゆうくりあ

220-横浜市西区中央1-30-17 泉谷方  
0051 TEL 045-321-1920

## 劇団G/9 Project

232-横浜南区南太田4-38-27  
0006 喜楽荘106 佐藤典久方  
TEL 045-716-5297

## 劇団河童座

237-横須賀市田浦町4-32 横田方  
0035 TEL 0468-61-2666

## 劇団蒼い群

239-横須賀市グリーンハイツ5-2-107 村田方  
0846 TEL 0468-49-5785

## プロジェクト夢樹

239-横須賀市大津町4-43 吉本方  
0808 TEL 0468-36-7494

## 劇★派

238-横須賀市上町2-1 ネバーランド内  
0017 TEL 0468-27-1631

## 湘南ミュージカルシアター

253-茅ヶ崎市ひばりが丘1-10 前田方  
0027 TEL 0467-85-4313

## 劇団こゆるぎ座

250-小田原市本町2-2-20 梅月食堂内  
0012 TEL 0465-22-2988

# 総会 及び 理事会の報告

## 2000年の40周年記念合同公演に向けて 急がれる体制づくり

文責 編集部

### 総会について

99年5月16日13:00より京浜協同劇団稽古場において加盟劇団中11劇団総数70余名により行なわれた。議案書に従い、98年度活動報告99年度活動方針についての討議がなされ、それぞれ拍手により承認された。その後、加藤直氏による特別報告がされた。(内容については、4・5頁をごらんいただきたい。) 合同公演スタートとしてとてもよい場になった。新役員も選出され、99年度そして合同公演に向けた、大きな一歩を歩みはじめた。

6月21日に開かれた理事会の報告をします

### I 40周年記念合同公演の日程と会場決定

横浜公演・2000年11月11日(土)12日(日)

横浜 青少年センターホール

川崎公演・2000年11月25日(土)26日(日)

川崎 中原会館(エポック中原)

### II 40周年記念公演に関する事

1. 神奈川県文化課に公演成功のための協力依頼をしています。その事項は

①合同公演の稽古場確保の件 ②予算の助成の件(専門家の協力を得るため) ③県以外の国、企業などの助成が得られるよう協力してほしい件。

### 2. 制作体制強化について

制作担当を山本忠利に加え、制作班として、川崎演劇塾の団のぼる、劇団麦の会の山元洋一で対応する。

### III 40周年記念誌の発行について

全体的に準備が遅れていることが指摘され執筆のための基本年表を7月中旬に上げることを再確認した。出版費用捻出についての結論はまだ出ていない。

### IV その他

99年度神奈川県演劇フェスティバルが開催される。9月から12月の期間で各劇団が参加作品を決め、フェスティバル成功のため協力することを確認した。

最近、ちよつとずつ劇団員  
が増えている。嬉しい。秘  
訣はナイショ。減らない。  
が、ちよつとずつ、頑  
張る。つと。を願いつつ、頑  
張る。つと。を願いつつ、頑

みゆき

今回は、演出家の加藤さん  
のお話をまとめてみました。  
はたしてどこまで伝えられ  
たでしょうか?ぜひ、感想  
を聞かせて下さい。  
清水

清水

わが家のそばの紫陽花は今  
とてもきれいに咲いていま  
す。梅雨まつさかり、今号  
が発行されるころはまつ青  
な空が見られることでは  
う。

村田次郎